

## 住宅の気密性能試験結果(1)

依頼者	会社名又は氏名	華建築株式会社	電話	0748-32-8715
	住所	近江八幡市出町162-2		

測定対象建物の概要			
建物の名称	様邸 新築工事		
所在地	滋賀県彦根市		
竣工年月日	2020		
構造及び工法	在来木造工法		
建物の規模	地階床面積	- m <sup>2</sup>	
	1階床面積	60.4 m <sup>2</sup>	
	2階床面積	48.86 m <sup>2</sup>	
	3階床面積	- m <sup>2</sup>	
	延べ床面積	109.26 m <sup>2</sup> (A)	
開口部の仕様	窓	単層(引き違い・外開き・内開き)	
	玄関戸	外開き戸	
主な部位の気密層の仕様			
建物概要図	別紙添付図面の通り		
通気量を測定した位置	添付平面図に示す		

測定時の建物条件				
	部位	方法	確認	特記事項(左欄以外の処理)
1	建物外皮にあるドア・窓	ロック(施錠)だけ	○	
2	天井・床下改め口	普通に閉めた状態	○	
3	郵便受け	普通に閉めた状態	なし	
4	車庫に通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
5	基礎と床の両方を断熱している地下へ通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
6	換気レジスター	シャッター閉または目張り	○	
7	台所レンジファン	シャッター閉または目張り	○	
8	換気扇・天井扇	シャッター閉または目張り	○	
9	FF式以外の煙突の穴	ダンパー閉または目張り	なし	
10	屋外に通じる排水管	封水または管口を目張り	○	
11	集中換気システムの給排気ダクトの屋外側出入口	テープ処理または目張り	○	
12	建物外皮の外側にある開口部	普通に開けた状態	なし	
測定対象外にした部分(空間)の名称				
同上で延べ床面積(A)に含まれる床面積		- m <sup>2</sup> (B)		
吹抜け・床下・小屋裏などの測定対象の相当床面積		18.08 m <sup>2</sup> (C)		
測定対象とした建物の実質延べ床面積(S)		S = 127.34 m <sup>2</sup> S = (A) - (B) + (C)		
測定対象とした建物の外皮内容積		V <sub>t</sub> = m <sup>3</sup> (漏気回数を求めるときに記入すること)		

注) 確認欄には、各状態を確認後、○印を付けること

# 住宅の気密性能試験結果(2)

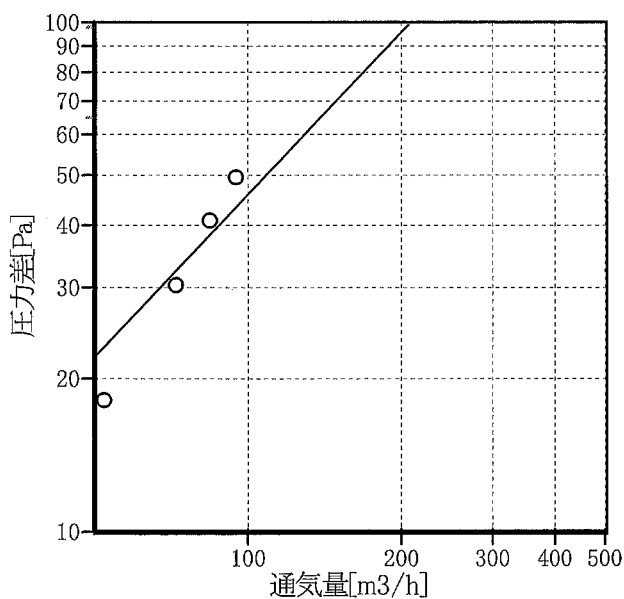
様邸 新築工事

測定者・測定方法・測定装置							
事業所	株式会社マーベックス	事業所 登録番号	1506	測定者	高橋宏	登録番号	07293-21
所在地	東大阪市吉田本町2-3-30				電話番号	072-962-3783	
測定方法	JIS A 2201 (送風機による住宅等の気密性能試験方法)による (減圧法)						
	流量および圧力差の測定は、あらかじめ校正した測定装置を使用して行った						
測定装置	コーナー札幌株式会社 KNS-2500C型						

試験日時	2020年11月12日 15時30分						
測定時の環境	天候	晴れ			風速	m/s (参考)	
	室内温度	19.0 °C			風向	(参考)	
	外気温度	15.9 °C			風速測定位置	(参考)	
					気圧	hPa (参考)	

測定点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
圧力差: ΔP(Pa)	8.6	18.2	30.5	40.7	49.4					
通気量: Q(m³/h)	19	52	72	84	95					

隙間特性値 : n (1 ≤ n ≤ 2)	1.06
通気率(ΔP=1Pa時の通気量): a	2.7 m³/h・Pa <sup>1/n</sup>
ΔP=9.8Paにおける通気量: Q9.8	23.4 m³/h
係数: b	0.694
総相当隙間面積 : α A(cm²)	16 cm²
相当隙間面積 : C(cm²/m²)	0.1 cm²/m²



## 住宅の気密性能試験結果(1)

依頼者	会社名又は氏名	華建築株式会社	電話	0748-32-8715
	住所	近江八幡市出町162-2		

測定対象建物の概要			
建物の名称	様邸 新築工事		
所在地	滋賀県彦根市		
竣工年月日	2020		
構造及び工法	在来木造工法		
建物の規模	地階床面積	- m <sup>2</sup>	
	1階床面積	60.4 m <sup>2</sup>	
	2階床面積	48.86 m <sup>2</sup>	
	3階床面積	- m <sup>2</sup>	
	延べ床面積	109.26 m <sup>2</sup> (A)	
開口部の仕様	窓	単層(引き違い・外開き・内開き)	
	玄関戸	外開き戸	
主な部位の気密層の仕様			
建物概要図	別紙添付図面の通り		
通気量を測定した位置	添付平面図に示す		

測定時の建物条件				
	部位	方法	確認	特記事項(左欄以外の処理)
1	建物外皮にあるドア・窓	ロック(施錠)だけ	○	
2	天井・床下改め口	普通に閉めた状態	○	
3	郵便受け	普通に閉めた状態	なし	
4	車庫に通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
5	基礎と床の両方を断熱している地下へ通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
6	換気レジスター	シャッター閉または目張り	○	
7	台所レンジファン	シャッター閉または目張り	○	
8	換気扇・天井扇	シャッター閉または目張り	○	
9	FF式以外の煙突の穴	ダンパー閉または目張り	なし	
10	屋外に通じる排水管	封水または管口を目張り	○	
11	集中換気システムの給排気ダクトの屋外側出入口	テープ処理または目張り	○	
12	建物外皮の外側にある開口部	普通に開けた状態	なし	
測定対象外にした部分(空間)の名称				
同上で延べ床面積(A)に含まれる床面積		- m <sup>2</sup> (B)		
吹抜け・床下・小屋裏などの測定対象の相当床面積		18.08 m <sup>2</sup> (C)		
測定対象とした建物の実質延べ床面積(S)		S = 127.34 m <sup>2</sup> S = (A) - (B) + (C)		
測定対象とした建物の外皮内容積		V <sub>t</sub> = m <sup>3</sup> (漏気回数を求めるときに記入すること)		

注) 確認欄には、各状態を確認後、○印を付けること